

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	富士通コンポーネント株式会社					
代表者名	氏名	石坂 宏一	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都品川区東品川4丁目12番4号 品川シーサイドパークタワー20F					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	各種電子部品・デバイス等の開発・設計・製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2609	2530			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5454	5290			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	2				
自動車の台数	台	13				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	24				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

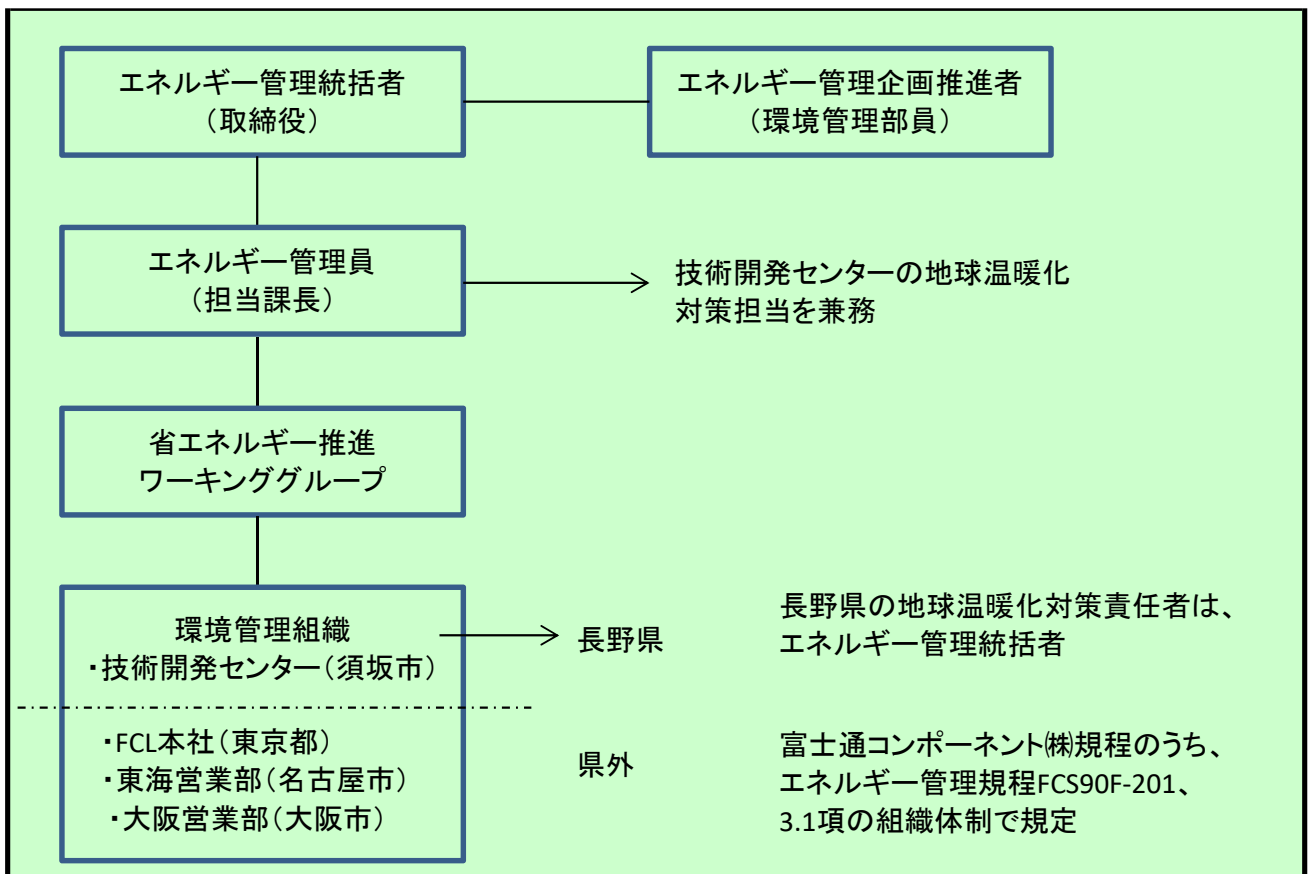
<input type="checkbox"/>	ホームページ	玄関ホールに閲覧用印刷物を配置 閲覧可能時間：8:30～17:30、担当部署・連絡先：総務課
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

当グループは、富士通グループの一員として、地球環境保全への取り組みを最重要課題であると認識し、『環境を大切に、より良い企業活動を行うこと』を理念とし、コンポーネント製品の開発、設計、製造、販売を行う企業であることを踏まえ、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、ISO 14001に準拠した環境マネジメントを推進する。

○社員一人ひとり、それぞれの業務と市民としての立場を通じて持続可能な資源の利用、気候変動対策や生物多様性保全を始めとした環境の改善に努め、更に広くこれらを社会への普及啓発を図る。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進部会を、6回/年開催。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,454	t-CO ₂	生産額	5,052.00	単位	百万円	
28年度	調整後排出量	5,413	t-CO ₂	基準原単位	1.08	t-CO ₂ /	百万円	
目標年度	目標排出量	5,290	t-CO ₂	目標原単位	1.04	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.70	%		
目標設定に関する説明	<p>〈目標値設定手順〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準年度の生産実績と第一年度の生産計画から使用エネルギーと排出量を予想する。 ・省エネ部会等より排出削減策を吸いあげ、上記排出量から減ずる。 ・目標排出量、或いは原単位の何れかが▲1%以上になるまで削減策を見直す。 							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂	生産額		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	生産額		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	生産額		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	24	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299 (空冷チラー室外機に遮熱対策=よしず)	H29	10		
2	エネ起	その他 コンプレッサー冷却水をチラーから冷却塔へ変更	H29	36		
3	エネ起	350699 高効率トランスへの更新 (2台)	H29	5		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	40				
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,454						
1,500k1未満								
合計	1	5,454						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	1.68			
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	1.68	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	13			
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	当社購入先及び二次取引先に、CO2排出削減活動の取組みを依頼。活動状況を回答いただく活動を実施。

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	会社行事（創立記念行事、北信地区富士通グループの森保全活動）等へは相乗り参加を呼びかけている。
公共交通機関の利用促進	会社のボランティア行事（市内清掃活動等）への参加者へ公共交通の利用を呼び掛けている。
来客者の交通対策	遠方からの来訪予定者に対し交通案内（長野電鉄ダイヤ、須坂駅からの地図提供）を行っている。
物流の合理化	各社独自で運送便を手配及び運搬をしていたが、ルート便（往復便）を運行させることで走行車両の削減を行っている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1995年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①環境配慮製品の開発・提供（エネルギー効率、資源効率） ②廃棄物の削減 ③取引先とのCO2排出量削減の推進（グリーン調達活動）
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	①メンブレンドライヤーの廃止 ②差圧ダンパーの開放度調整 ③室外チラーへの水撒き冷却 ④PCB含有高圧トランス5台更新	500
その他		